

取扱説明書

アクトモア ウォーキー S7 スタンダードタイプ 酸素ボンベホルダー付きタイプ

このたびは、本製品をご利用いただき、まことにありがとうございます。
この「取扱説明書」には、本製品を安全にお使いいただくための注意事項
や使用方法などを記載しています。

- 本製品をお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- 本製品は、改良などにより「取扱説明書」の内容と一部異なる場合もあります。
- ご不明な点がございましたら、当社までお問い合わせください。

株式会社フロンティア

1 ご使用上の注意

危険

【死亡または重傷を招くもの】

- 座面に腰を掛けるときや、本製品から手を離すときには、必ず左右両方の駐車ブレーキをかけてください。ブレーキがかかっていないと動き出して衝突や転倒の危険があります。また、腰を掛ける場合は平坦な場所で後ろ向きに座ってください。
- エスカレーター・動く歩道・階段などでは使用しないでください。段差のあるところでの使用は十分注意してください。転倒のおそれがあり危険です。
- 溝や踏切の線路での落輪、キャスターの挟み込みには十分注意してください。

警告

【死亡または重傷を招く可能性があるもの】

- 取り扱いが理解できないと思われる方が使用する際には、十分注意してください。取扱説明書に書かれた内容が理解できないと思われる方（幼児や認知症の方など）が使用する場合には、保護者、介護者などが必ず取扱説明書に従った使用を確保し、本人による製品の誤動作、その他誤った使用方法による事故を未然に防いでください。
- 本製品の耐荷重（P6参照）を守ってください。
- 人をのせたまま走行しないでください。本製品は車いす・乳母車・ベビーカーではありません。転倒のおそれや、足をひきずるなどしてケガをするおそれがあり危険です。
- 凹凸や傾斜のある路面、すべりやすい場所で使用するときは十分注意してください。また、急勾配の坂道では使用しないでください。転倒のおそれがあり危険です。



警告

【死亡または重傷を招く可能性があるもの】

- 座面の上で立ち上がらないでください。
転倒のおそれがあり危険です。
- 走行時のブレーキ操作は、必ず両手で同時にブレーキレバーを握ってください。
片方のブレーキレバーだけを握ったり、片方の握りが弱い場合、バランスが崩れて転倒するおそれがあります。
- 急ブレーキをかけないでください。
バランスが崩れて転倒するおそれがあります。
- 走行時は必ずグリップ（押し手）を握って走行してください。
グリップ（押し手）以外の部分を持って走行すると、転倒するおそれがあります。
- 本製品を体の後ろに置いて使用しないでください。
転倒のおそれがあり危険です。



注意

【軽傷または中程度の傷害を招く可能性があるもの】

- 分解や改造をしないでください。
強度や耐久性が低下し、転倒するおそれがあります。
- 火気に近づけないでください。
熱くなった金属部でやけどをするおそれがあります。
- 袖口やすその広い服装などで本製品を利用される場合は、注意してください。
衣服がキャストに巻き込まれるおそれがあります。
- 本製品の開閉操作を行う際には、幼児を近づけないでください。
- 車体を閉じるときは手を挟まないように注意してください。
- 風雨の強いとき、また傘を持ちながらの片手での使用はおやめください。
- バッグの積載荷重（5kg）を守ってください。
- バッグの中に鋭利なものを入れないでください。
バッグが破れるおそれがあります。
- バッグ以外の所に荷物をのせたり、つるしたりしないでください。

2 製品の特徴

本製品は、歩行に不安のある方の歩行をサポートする歩行車です。

- 休憩時の腰掛けとして使える座面付きです。座面の高さは、使用する方の体に合わせて調整できます。
- 手にフィットする形状と素材のグリップ（押し手）で、長時間の使用でも疲れにくいです。
- 酸素ボンベホルダー付きタイプは、酸素ボンベを積み込んで使用できます。
- 独立した2種類のブレーキシステムで、走行時・停車時の安全を確保します。
- 折りたたみ式なので、保管場所を取らず持ち運びにも便利です。また、バッグ付きで荷物を収納できます。
- ブレーキワイヤーが内蔵タイプなので、ワイヤーを引っかけることなくお使いいただけます。
- 段差の乗り越えに便利なティッピングレバーが付いています。

3 各部の名称

スタンダードタイプ



酸素ボンベホルダー付きタイプ

〈使用可能ボンベサイズ〉
 直径：約11.2cmまで
 容量めやす：2.0ℓ、2.8ℓ
 (1.1ℓは使用不可)



※酸素ボンベホルダー付きタイプはバッグを取り付けることはできません

4 適合調整

グリップ(押し手)の高さ調整のしかた

- ①コ字型パーキングレバーを手前に引き、駐車ブレーキを解除します。
- ②左右のグリップ(押し手)の下にあるオレンジのハンドル高さ調節ノブを引きます。
- ③ハンドル高さ調節ノブを引いたまま、左右片側ずつグリップ(押し手)を上下し、高さを調整してください。
 コンパクト：73～89cm(9段階調節)
 コー：68～84cm(9段階2cm刻み)
 レギュラー：76～102cm(14段階2cm刻み)の調整が可能です。
- ④「カチッ」と音がすれば、グリップ(押し手)の高さが固定されます。



△注意

高さ調整を行った際は、左右同じ高さであることを確認してください。
 また、はめ込みが不十分だと、使用中にグリップ(押し手)がぐらつき、転倒するおそれがあります。

ポイント

まっすぐ立って腕を下げたときの手首の位置、あるいは大転子のあたりを、グリップ(押し手)の高さの基準にします。
 グリップ(押し手)および座面の高さは医師や理学療法士、作業療法士など、専門職の指示に従い調整することをおすすめします。

座面の高さ調整のしかた

- ①座面の下にあるオレンジの固定ノブを引きます。
- ②固定ノブを引いたまま、左右片側ずつ座面を上下し、高さを調整してください。
 コンパクト：43～57cm・5段階
 コー：46～50cm・2段階、レギュラー：46～60cm・5段階の調整が可能です。
- ③「カチッ」と音がすれば、座面が固定された状態となります。



△注意

高さ調整を行った際は、左右同じ高さであることを確認してください。
 また、はめ込みが不十分だと、座面に座った際に急に座面が下がり、転倒するおそれがあります。

ブレーキ調整のしかた

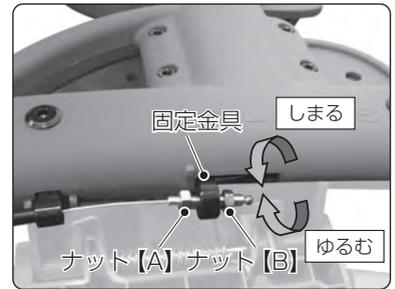
- ①ブレーキがかかっていないことを確認してください。
- ②車体下にあるナット【A】をゆるめ、後輪キャストとブレーキパッドの間を広げます。
- ③固定金具から、ナット【B】が出てきます。ナット【B】を時計回りに回すとブレーキがゆるみ、反時計回りに回すとブレーキが利きます。

⚠ 危険

ブレーキ調整部は左右2ヶ所あります。左右のブレーキが同じように利くように調整してください。左右のブレーキの利き方が違うとバランスを崩すおそれがあり、危険です。

ポイント

ブレーキ金具とキャストのすき間が2mmくらいになるように調整します。



5 ご使用前の準備と点検

ご使用前に以下の点を確認してください。

- ブレーキレバーを握り、ブレーキが利くこと。
- 駐車ブレーキがキャストを固定すること。
ブレーキ調整のナットを締めても利きが悪いときは、当社に連絡してください。
- キャスターがゆるんでいないこと。
- ガタつき、グラつきなど異常を感じた場合はすぐに使用を中止して、当社に連絡してください。

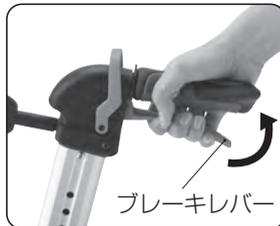
6 ご使用方法

1. 開きかた

グリップ（押し手）を両手で持ち、外側に開きます。座面を押し下げ、車体を開きます。

2. 走行時のブレーキのかけかた

- 自転車のブレーキと同様に、グリップ（押し手）とブレーキレバーを同時に握ると、ブレーキがかかります。
- ブレーキレバーから手を離すとブレーキは解除されます。

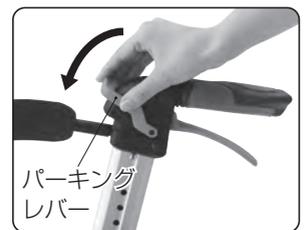


⚠ 警告

ブレーキをかけるときは、両手で左右同時にゆっくりとレバーを握ってください。

3. 駐車時のブレーキのかけかた

- 左右のコの字型パーキングレバーを前に押し下げます。
- 解除するには、コの字型パーキングレバーを「カチッ」という音がするまで押し上げます。



⚠ 危険

座面に腰掛けるときには、必ず駐車ブレーキをかけてください。

4. 折りたたみかた

片手でグリップ（押し手）を持ちながら、座面の中央にあるオレンジのひもを引き上げます。

5. ティッピングレバーの使いかた

後輪キャストの内側にあるティッピングレバーを踏み、前輪キャストを上げます。テコの原理で前輪キャストが容易に上がるので、段差の乗り越えに便利です。

⚠ 危険

ティッピングレバーを勢いよく踏んだり、バッグに荷物を入れた状態で段差を乗り越えるとバランスを崩すおそれがあります。必ずグリップ（押し手）を両手でしっかり握り操作してください。



6. バスケットの取り付けかた

【旧仕様】下から上へ差し込みます。



【新仕様】上から下へ差し込みます。



7 保守・点検

- ご使用前には必ず下記の事項を点検・整備し、常に安全な状態でお使いください。
 - ① キャスター、ブレーキなどのゆるみを点検し、ゆるんでいるときは増し締めをしてください。
 - ② ブレーキの利き具合が悪いときは、後輪キャスター上部のブレーキパッドに付いているブレーキ調整のナットを回して調整してください。それでも直らないときには、当社にご連絡ください。
- 水を含ませた布を固く絞り、汚れをふき取ってください。
汚れがひどい場合は、中性洗剤を布に含ませてから固く絞ってふき、水を含ませた布でふいてください。

8 保管場所

次のような場所では、保管しないでください。故障の原因となります。

- 雨が当たる場所
- 炎天下、直射日光が当たる場所
- 湿気の多い場所
- 高温になる場所

9 故障かな？と思ったら

故障でない場合もありますので、修理を依頼される前にもう一度以下の項目をチェックしてください。

| 症 状 | 考えられる原因 | 処 置 |
|-------------------|-----------------------------|----------------------------------|
| グリップ(押し手)がグラグラと動く | グリップ(押し手)の高さ調整部が確実に固定されていない | ハンドル高さ調節ノブが、確実にハマっているか確認してください |
| 手元ブレーキが利かない | キャストの磨耗 | キャストの交換が必要です。当社にご連絡ください |
| | ブレーキワイヤーの破損 | 当社にご連絡ください |
| 駐車ブレーキが利かない | キャストとブレーキパッドの間に障害物がある | 障害物を取り除いてください |
| | ブレーキの破損 | ブレーキの交換が必要です。当社にご連絡ください |
| | キャストの破損 | キャストの交換が必要です。当社にご連絡ください |
| キャストが重い | キャストに髪の毛、ビニールなどが巻きついている | キャストを手で回転させて、巻きついているものを取り除いてください |
| | 駐車ブレーキがかかっている | 駐車ブレーキを解除してください |

※ チェックを行っても正常に使用できない場合、または破損や異常を発見した場合はすぐに使用を中止して、当社にご連絡ください

10 仕様

| | | | |
|----------------------|--|-----------------|-------------------|
| 製品名 | アクトモア ウォーカー S7 ①スタンダードタイプ/②酸素ボンベホルダー付タイプ | | |
| サイズ | コンパクト | ロー | レギュラー |
| 適応身長めやす | 145~180cm | 135~165cm | 155~200cm |
| 本体外形寸法 (全幅×奥行×全高) | 53×62×73~89cm | 59×74×68~84cm | 59×74×76~102cm |
| 折りたたみ幅 | 27cm | | |
| 座面高 | 43~57cm (5段階調節) | 46~50cm (2段階調節) | 46~60cm (5段階調節) |
| グリップ(押し手)高 | 73~89cm (9段階調節) | 68~84cm (9段階調節) | 76~102cm (14段階調節) |
| 重 量 | ①約7.3kg ②約7.6kg | ①約7.8kg ②約8.1kg | ①約8.2kg ②約8.5kg |
| 耐荷重(積載物含む) | 125kg | 140kg | |
| 前輪キャスト径 | 6インチ(360度回転) | 8インチ(360度回転) | |
| 後輪キャスト径 | 6インチ | 8インチ(固定) | |
| 材 質 | フレーム：アルミ | | |

■製品の仕様は予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

株式会社フロンティア

フクシのクトハ

フリー
コール **0120-294-518**

福祉本部 〒261-0002
千葉県千葉市美浜区新港42-4
TEL.043-301-8338



●アフターサービスのお問い合わせ

取扱店